

市民講座 2017 冬

受講者募集

まなびのライブ塾

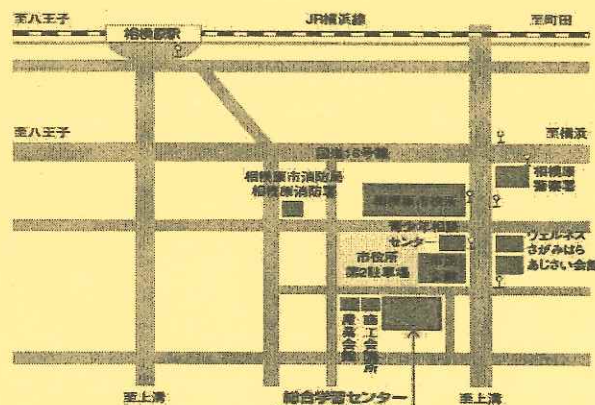
募集期間 12月1日(金)～12月15日(金)



まなびのライブ塾とは
市民が主体となって作り上げ
運営も講師も市民自らが行う講座です。
ぜひお気軽にご参加ください。

【問い合わせ・申込先】

〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-10
相模原市立総合学習センター
TEL042-756-3443 FAX042-758-8146



A 日本人のおもてなしの心理 【講師】水谷英正 心理学士、生涯学習コーディネーター
日本人固有の「おもてなし」の心理について、皆で共に考えてみます

【対象】どなたでも (定員16名) 【受講料】500円 【持ち物】筆記用具
 【開催日時】1月11日(木) 午後2時~3時30分 【全1回】

日本人の「おもてなし」は世界中で評価されています。その日本固有と言われる「おもてなし」の心理について、皆で共に考えて学びます。さらに、その「おもてなし」の心の育ち方や、その心ゆえの問題についても考えてみます。

B ハーバルライフ入門 【講師】永井康子 ハーバルセラピスト(JAMHA)
心とからだに効くハーブの楽しみ方 アロマテラピーインストラクター(AEAJ)

【対象】20歳以上の方 (定員8名) 【受講料】3,700円 【持ち物】筆記用具
 【開催日時】1月13日(土)、1月27日(土) 午前10時~12時 【全2回】※妊娠されている方はご遠慮ください

ハーブや精油の作用を知り、健康維持や美容などセルフケアに役立ててみましょう。
 第1回：インフルエンザ&ノロウィルス予防スプレー、 第2回：頭皮ケア&ヘアパック

C 養生訓に学ぶ健やかさ 【講師】武井孝夫 歴史愛好家
老いを楽しく

【対象】どなたでも (定員15名) 【受講料】700円 【持ち物】筆記用具
 【開催日時】1月15日(月)、1月29日(月) 午前10時~11時45分 【全2回】

貝原益軒の生き方と著書「楽訓」「養生訓」を通して、人生をいかに健やかに生きるかを学ぶ。

D おくのほそ道を読んでみよう 【講師】大元祐子 俳誌「未来図」同人、俳人協会会員
「月日は百代の過客・・・」序文を読み解く

【対象】どなたでも (定員15名) 【受講料】500円 【持ち物】筆記用具
 【開催日時】1月17日(水) 午前10時~11時30分 【全1回】 会場:ユニコムプラザさがみはら

300年以上を経て、今なお人々を魅了する松尾芭蕉の『おくのほそ道』。「月日は百代の過客・・・」から始まる序文は、芭蕉の旅への思いが書かれています。序文を読み解いていくことで、芭蕉の夢の入口に立ってみませんか。序文を声に出して読んだり、写し書きをしたりすることにより、理解を深めます。

E 進化するテレビの画面 【講師】今岡英一郎 技術史研究者
液晶の特異的性質とディスプレイとしての将来展望

【対象】どなたでも (定員15名) 【受講料】1,000円 【持ち物】筆記用具
 【開催日時】1月19日(金)、1月26日(金) 午前10時~11時45分 【全2回】

液晶はブラウン管テレビに代る平面型テレビの材料として、テレビの大型化と薄型化という従来にない技術革新を伴って、世界のイノベーションに寄与した。講座では液晶の特異的性質について述べ、最近話題になっている有機ELと比較しつつ、ディスプレイとしての将来展望について議論する。

F 『史記』を楽しく読む 【講師】鎌谷正彦 学士(史学)
項羽本紀(三)

【対象】どなたでも (定員40名) 【受講料】1,200円 【持ち物】筆記用具 【開催日時】1月22日(月)、1月29日(月)、2月5日(月)、2月19日(月)、2月26日(月) 午前10時~11時40分 【全5回】

司馬遷の『史記』のうちで面白いとされている「項羽本紀」について、漢文の素読と解釈を通じてその面白さを感じていただきます。また、項羽と劉邦の生き方から人間の生き方について学びます。皆さんがよくご存じの「四面楚歌」や「虞美人」は「項羽本紀」に由来しています。難しそうですが、できるだけわかりやすく説明して、その面白さがわかっていただける講座にしたいと考えています。「項羽本紀」の続きを読みます。

G 歴史の残影イタリアⅢ 【講師】安田隆春 歴史の市民研究者
南イタリア:3つの海に囲まれた歴史と自然が織りなす話題と魅力が尽きない街々

【対象】成人 (定員30名) 【受講料】1,800円 【持ち物】筆記用具
 【開催日時】1月25日(木)、2月1日(木)、2月22日(木)、3月1日(木) 午前10時~11時45分 【全4回】

第1回：カンツォーネとピッツァ、そして迷宮都市の別名を持つナポリ。第2回：古代ローマの世界を見せてくれる街ポンペイとエルコラーレ。第3回：絶景のナポリ湾(カプリ島)とアマルフィ海岸、中世海洋都市の面影を残すアマルフィ。第4回：謎が多く興味深いアドリア海側の街々(パリー、アルペロベッロ、カステル・デル・モンテ、マテーラ)。